

武調部員殿

機密

十特根機密第二號七

自昭和十七年六月一日
至昭和十七年六月三十日

七月五日送付

第十特別
根據地隊
司令部印

調査
昭和十七年
八月十七日
接受

0494

第十特別根據地隊戰時日誌

(作戰及一般部)

所管(所属)	第一南遣艦隊
役務	作戰部隊

29

五	作	戰	經過	概要
	(四)	寫		
	(三)	戰		訓
	參		考	
四	令	達	報告	等
三	人	員	現	狀
二	經		過	
一				

目次

(目次終)

0495

自昭和十七年六月一日
至昭和十七年六月三日
第十特別根據地隊戰時日誌

一 經過

(イ) 一般情勢

(一) 初旬東太平洋作戰中、我海軍部隊ハ「アリネ」列島ノ
敵軍事據点「グッチーバ」並ニ同列島一帯ヲ急襲シ大打撃ヲ
與ヘルト共「アッツ」「キスカ」兩島ヲ占領セリ

(二) 一方洋心敵根據地「ソドウ」ニ對シ猛烈ナル強襲ヲ敢行増援
中、米國艦隊ヲ捕捉猛攻ヲ加ヘ敵海上及航空兵力並ニ重要軍
事施設ニ甚大ナル損害ヲ與ヘタリ

(三) 独ソ戰線及北阿戰線共ニ活發化シ戰勢ハ枢軸國側ニ極大ニ有
利ニ展開シツアリ
即チ「クリミア」半島方面ノ獨軍ハ「セバスト」ポリ要塞ニ肉迫其陷落

八時日向題トナリ北阿方面ニ於テ下旬要衝「トブルク」陥落シ独
伊軍ハ「ゴゴ」ト心臓部ニ向ヒ怒濤ノ進撃ヲ續ケツアリ

(ロ) 敵軍情勢

(一) 初旬ニ於ケル東太平洋方面海戦以來航母ヲ喪失セル米國ハ其得
意「トブルク」航母集因戦法ニ依ル「ケリ」戦實施ハモトヨリ作戦敵ニ
消極的トナリツマリト切訕ム

(二) 先月本邦沿岸及南西方面ニ跳梁シツテリシ敵潜水艦ハ補給
交代ヲ實施シツアルモ、如ク敵ノ我ニ対スル海上交通破壊戦ハ本
月ハ稍消極化セル感アリ

(イ) 任務編制配備

(一) 任務

- (1) 「セレン」及昭南方面海軍担任海面防備警戒港務
- (2) 交通保護

(一)

- (1) 昭南附近水路掃海
- (2) 昭南方面味方通信中枢对敵通信
- (3) 補給治療
- (4) 所在陸軍ト連絡

編制

(1) 五月二十日附第二段第二期作戰ニ於ケル左記兵力部署ニ依リ作戦ニ從事ス

第十特別根據地隊(第一警戒備隊及)第四掃海隊

(2) 佛印根據地部隊指揮官、指揮下ニ入りカムランニ方面敵潛掃蕩中、九號駆潜艇ハ十二日、七号掃海艇ハ二十日夫々指揮ヲ解カレ復飯ス

(三) 配備

前月ト同様ノ配備ニリ各廳部隊固有任務ヲ續行ス

(二) 作戰指導

(一) 作戰

「ソ」諸島中ニ敵潛水艦ニ對スル補給スル通信施設設アルヲ疑フ且
棟報ニ依テ「ミ」島ニ蘭國兵アリテ匪賊化シツアリ

即チ第一驅逐隊司令ヲシテ驅逐艇一長沙丸及陸戰隊固中
隊(第一警備隊ヨリ派セ)ヲ指揮シ「ク」ト「ナ」
島、賊是作戰ヲ實施セシ

「主」ヨリ「ミ」島ヲ攻畧敵ヲ見ズニ三日「ク」ト「ナ」東岸ヲ攻メ各セリ
「ソ」ニ「ミ」蘭人中尉一伍長ニ無線電技師一「シ」兵名「ミ」上陸前
發電機及無線機裝置ヲ徹底的ニ破壊兵舎八焼却小銃五固定
機銃若干ヲ獲テ徹退セリ

無線装置置六相當優秀ナルモノシテ敵潜水艦ト交信シ居リ疑アルモ諸島周辺ニ基地トシテ利用セルモノヲ認メズ

(二) 防備

の第十港務部長ヲ警戒隊指揮官トシ昭南東口及西口ニ哨戒艇各一隻ヲ配シ湾口哨戒ニ當ラシムル傍ヲ入港艦船航路指示ニ當ラシム

(2) 昭南軍港東口枋材北側監視艇ニ警戒兵ヲ配シ警戒並ニ航路指示ニ當ラシム

(3) シリ附近敵潜水艦出没ノ狀況ニ鑑ミ九日九號駆潜艇ヲ同地派遣約十日間同附近ノ対潜警戒ニ當ラシム

(三) 掃海

四掃海隊ヲシテ外交官交換船浅間丸ヨリテベルデ号ノ泊地豫定地附近ノ掃海ヲ実施セシム

(四) 護衛

(1) 長沙丸八日弁陸軍輸送船建國丸梅川丸ヲ南緯。度五分東經。七度。分近護衛航途昌平丸ヲ「ツク」近護衛ス

(2) 第四掃海隊ハ北緯ニ度三分東經。六度三分地占リ陸軍輸送船「マ」丸ヲ護衛「カリマ」海峽ニ至リ第三特別根據地隊護衛艦ヲ引継グ

(3) 七號掃海艇ハ「ガ」ヨリ昭南迄五。七船固ヲ護衛ス

(ホ) 戦備及政策事項

(一) 所信令第三。號ニ基キ。各廳長ヲ區處シ東港空及十二特根水偵隊訓練給養等ニ支障ナキ如ク「セ」水ニ基地ヲ整備十五日完成ス

(二) 機密所命令第三八號昭南軍港(仮稱)施設調査委員會規程ニ基キ「昭」司令官委員長トシテ各廳各部ヲ區處シ施設基礎

二 人員現狀

(1) 第十特別根據地隊

(一) 職員官氏名

職	主	務	官	氏	名	記	事
司令官			中將	奧	信一		
副長兼參謀	首席參謀	作戰二股	大佐	山崎	貞直		
副官兼參謀	副官	通信	少佐	飯田	美照		

- (三) 安本、研究調査ニ着手ス
- (三) 昭南海軍担任区域敵産處理委員會補助機關トシテ敵産處理分科委員會ヲ設置各敵産対スル處理要領ヲ研究セシム
- (四) 昭南集合地管理規程ヲ定ム

同	同	同	同	同	同	附	分隊長	附	分隊長	兼主計分隊長	兼軍醫分隊長	參謀
第一分隊長	第一分隊長 兼第四、五分隊長 兼職務執行	陸軍官科附 兼第一分隊長	水鏡科附 兼第三分隊長	砲台衛隊長 兼第二分隊長 兼職務執行	工務長 兼職務執行 兼第五分隊長 兼職務執行	庶務主任 兼第七分隊長	第四分隊長 兼職務執行	第六分隊長	第三分隊長 兼陸軍官科 兼水鏡科 兼衛兵司令	主計長 兼第七分隊長	軍醫長 兼第六分隊長	機関運輸施設補給
特少尉	機特少尉	同	特少尉	特中尉	工中尉	主中尉	機大尉	医大尉	特大尉	主中佐	医中佐	機少佐
平野 数市	田中 朝吉	松川 勲	石川 彌作	吉田 信男	田邊 直次郎	黒川 晃	岡林 茂	河野 通文	井上 吉次郎	中山 清市郎	村田 三郎	松崎 義森
												<small> 五百四十四号附分隊長 昭和六年十月十日 後任特少尉 昭和六年十月十日 </small>

0503

34

軍極秘

十特根機密第二號入

自昭和十七年七月一日
至昭和十七年七月五日

月 日送付

第十特別
根據地隊
司令官印

第十特別根據地隊戰時日誌

(作戰及一般部)

役	所管(所屬)
務	第一南遣艦隊
作	
戰	
部	
隊	

海軍少將調査部
17.9.26

0504

目次

一	經	過
二	人員	現狀
三	令	達報告等
四	矢	赤
	(イ)	戰訓
	(ロ)	寫真
五	作戰	經過概要

(目次終)

0505

自昭和十五年七月一日
至同年七月三十一日
第十特別根據地隊戰時日誌

一 經過

(一) 一般情勢

(一) 太平洋及印度洋方面ニ於テハ大ナル作戰ノ展開ヲ見ズ彼我共ニ
戰力ノ整備ニ努メ專ラ潜水艦ニ依ル海上交通破壊ニ主カラ注ギ
ツアルモ、如シ

(二) 北阿方面戰局ハアラマイニ地區ニ於テ膠着状態ニシテ獨伊英兩
軍共一進一退ノ形ナル處獨蘇東南部戰線ハ本月初旬末ノ獨軍
ノ庄倒的猛攻ニ依リトシ河流域ノ要衝續々陥落特ニ南方ノ據
点「ロストフ」ヲ失陥ハ蘇聯ノ危局ヲ一躍増大セシメツアリ

(三) 七月三十一日附第三段第二期(後段)作戰兵力部署命令B作戰開始
シラル

0506

(ロ) 敵軍の情勢

(一) アレキサンドリアヲ脱走セル英艦隊ハ南阿ラビヤ方面或ハ印度洋方面ニ在ル算スナリ

(二) 独伊地中海制圧ニ伴ヒ英ノ北阿戦線補給路ハ主トシテ南阿方面海上護送船團ニ依リツアルモ、如シ

(三) 外南洋方面ニ於テハ米塚ノ空軍「ゲリラ」的ニ我が占領地区内ニ空襲ヲシツアルモ大ナル被害ヲ受ケナシ

(ハ) 任務編制配備

(一) 任務

(1) 「セレイ」及昭南方面担任海面防備警戒港務

(2) 交通保護

(3) 昭南附近水路掃海

(4) 昭南方面味方通信中枢対敵通信

⑤ 補給治療

⑥ 所在陸軍ト連絡

(二) 編制

(1) 五月三日附第二段第二期作戰ニ於ケル左記兵力部署ニ依リ作戰ニ從事ス。第十七特別根據地隊(第警備隊々) 第四掃海隊

(2) 第七號掃海艇七月四日 第九號駆潜艇七月十六日附佛印根據地部隊指揮官指揮下ニ入りカマシテ面敵掃蕩任務ヲ受テ

(3) 第七號駆潜艇七月八日附波南根據地部隊指揮官指揮ヲ受テ一尋礁附近敵掃蕩任務ヲ受テリタル處七月十六日附之ヲ解カル

(4) 第七號駆潜艇七月十八日附主队ヲ編入セラル

(三) 配備

前月ト同様配備ニテ各廳部隊固有任務ヲ續行ス

(四) 作戰指導

0508

(一) 作戰

持記事事項ナシ

(二) 防備警戒

(1) 第十港務部長ヲ警戒隊指揮官トシ昭南東口及西口ニ哨戒艇各一隻ヲ配シ湾口哨戒ニ當ラシムル傍ラ入港艦船ノ航路指示ニ當ラシム

(2) 昭南軍港東口防材北側監視艇ニ警戒艇ヲ配シ警戒並ニ航路指示ニ當ラシム

(3) 尋礁附近敵潛掃蕩中ノ第七號駆潜艇ハ屢々敵潛ヲ捕捉致撃中ノ處五百尋礁灯台ニ八度三八哩ニ於テ敵浮上潜水艦ヲ発見約七〇〇米迄肉迫セルニ潜航セルヲ以テ之ニ爆雷攻撃ヲ加エ撃沈セリ

(4) 第九號駆潜艇ハ初旬土駆潜隊司令指揮下ニ外交官交換船「春回丸」及「コンテベル」號ノ泊地附近警戒ニ任ゼリ

(一) 第七號掃海艇ハ初旬 第九號駆潜艇ハ中旬以降「カムラ」方面
ニ在リテ敵潜掃蕩ニ任ジツ、アリ

(三) 掃海

七月三日 1044のハ外交官交換船浅間丸「コンテベル」號泊地及附近掃
海ヲ完了ス

(四) 護衛

(一) 第九號駆潜艇ハ十三日昭南弁ノシニ船因六隻ヲ護衛蘭貢行ニ隻
ハ之ヲ「ホワイトワツ」燈台ノ西ノ埋ニテ九特根ニ引継キ爾余ノ三隻ヲ「バ
ラワン」迄護衛折返シ十四日「バラワン」弁ノ船因四隻又ヲ護衛昭南ニ返
ス
(二) 1044のハ七月十四日昭南弁ノシニ船因九隻又ヲ護衛蘭貢行セ隻ハ之ヲ
三尋礁附近ニ於テ九特根(永興丸)ニ引継キ爾余ノ三隻又ヲ「バラワン」迄
護衛折返シ十五日「バラワン」弁ノ船因五隻又ヲ護衛昭南ニ返ス

(3) 長沙丸七月二十日昭南弁の五船因五隻ヲ護衛蘭貢行ニ復ス之ヲ尋礁附近ニ於テ九特根部隊ニ引續キ爾余ノ二隻ヲハラヒテ護

衛ス

(ホ) 戦備及政策事項

先月「ナツナ」島賊定作戦ニ於テ弁見セル「グロートナツナ」島漂流中蘇聯人九名、情況南シテハ中々ヨリ再調査指示アリタルヲ以テ本月初旬ヲ留掃海隊ヲ派遣詳細取調シタル結果昨年十二月十七日日本島沖合ニ於テ日本機ニ依リ爆撃ヲ受ケ沈没セリト主張セル「バリーニア」號乗員タルコト概ニ確實ニシテ本件ノ處理ニ関スル當隊所見左ノ如ク

(ウ) 本調査ニ於テハ日本機ノ攻撃ニ非カルコトノ證據トナルベキ事項ハ全然把握シ得ズ調査ヲ進ムルニ從ヒ寧ロ其ノ日本機アリシコトヲ明瞭ナラシムル資料ノミダテ来ル狀況ニシテ既ニ糊塗抹殺ノ方策ヲキモト認ム

0511

十特根後密第二號ノ九

自昭和十七年八月一日
至昭和十七年八月五日

第十特別根據地隊戰時日誌

(作戰及一般部)

所管(所属)	第十南遣艦隊
役務	作戰部隊



0512

三三三
 經 過 次
 人員の現狀
 令達報告等
 (一) 別表第一
 (二) 文書部
 (三) 電報部
 (四) 信號部
 参 考
 作戦経過概要
 別表第二

0513

自昭和十七年八月一日
至同年八月三日

第十特別根據地隊戰時日誌

一 經過

(イ) 一般情勢

(一) 太平洋方面ニ於ケル敵ノ作戰ハ漸時活發トナリ「ツギ」附近
 島嶼ニ上陸ヲ企圖シ来リ其ノ一部揚陸シタルモ我航空部隊ノ
 襲撃ヲ輸送船ノ大半ヲ喪ヒ之ガ護衛ニ任ジタル敵機動部隊
 モ亦「ソロモン」海ニ於テ我ガ夜襲部隊ヨリ大半ヲ徹底的ニ撃
 滅セラレ茲ニ輝ク大戦果ヲ全世界ニ宣揚セリ

(二) 北阿方面ノ戦局ハ依然膠着ヲ示シ居ル處他方「トン」河渡河後
 ノ作戰ハ極メテ順調ニシテ今ヤ其ノ一部ハ「コーカサス」北部ニ進
 一カ「スタイングラード」攻畧戦ハ愈々最高潮ニ達シ兩軍全軍與々
 ケテ死闘中ノ之ガ陷落ハ今ヤ全ク時日ノ問題トナレリ

0514

(三) 已作戰、其開始直前、中止部隊編制ハ解カレタリ

(ロ) 敵軍ノ狀況

(一) 南河方面ニ在リト認メラレタル英海軍ハ印度洋方面ニ進出セル數度ノ情報ニ接シタルモ未ダ確認捕提スルニ至ラズ

(二) 日本近海及佛印沿岸南支那海ニ於ケル敵潛ノ活躍ハ相當執拗ナル活動ヲ續ケツ、アルモ之ニ因ル被害ハ漸次僅少ニナリツ、アリ

(三) 印度方面ニ在ル英米空軍、「ビルマ」方面空襲ハ依然續行セラレツ、アリ

(ハ) 任務編制配備

(一) 任務

(1) 担任海面防備警戒港務

(2) 交通保護 船團直接護衛

(3) 昭南附近水路掃海

50

(二)

編制

- (1) 昭南方面味方通信中枢对敵通信
- (2) 補給 治療
- (3) 航空 運輸
- (4) 所在陸軍ト、連絡
- (5) 昭南軍港擴充計画
- (1) 八月八日附B作戰ヲ中止其ノ編制ヲ解カル
- (2) 第七號駆潜艇ハ七月二八日主隊ニ編入セラレタル處八月八日附彼南根據地部隊ニ編入セラル
- (3) 八月十五日附第一驅潜隊ハ昭南根據地部隊ヨリ除キ彼南根據地部隊ニ編入セラル(第九號駆潜艇ヲ原隊ニ復返)
- (4) 第七號掃海艇八月十五日附當隊ニ復返
- (5) 八月二十七日附第九號駆潜艇ハ當分、間佛印根據地隊ニ編入セラル

0516

(6) 八月三日附第^二警戒備隊解隊セラル

(三) 配備

前月と同様配備在リテ各廳各部隊固有任務ヲ續行ス

(二) 作戰指道

(一) 作戰

對潛掃蕩(次項記載)

(二) 防備警戒

(1) 第^一港務部長^ヲ警戒隊指揮官トシ前月通湾口哨戒航

路指示ニ當ラシム

(2) 昭南軍港東口防材北側監視艇^ニ警戒兵^ヲ配シ警戒竝ニ

航路指示ニ當ラシム

(3) 12^月ハ初旬昭南^ハ「ハレニベ」間敵潛掃蕩ニ任セリ

(4) 第八號驅潛艇ハ中旬四日間ニ亘リ「アナニベ」西方ニ出現ス敵潛

0517

41

掃蕩ニ任ズ 尚下旬昭南東口附近敵潜掃蕩日間実施ス
(5) 第八號駆潜艇八前月引續キ七日迄「シリ」方面油槽船泊地
附近警戒ニ任ズ

(6) 八月十三日ID⁴⁴⁰⁹外交官交換船竜田丸昭南泊地附近警戒ニ任ズ
(7) 八月二十三日、二十四日ID⁴⁴⁰⁹外交官交換船鎌倉丸泊地附近警戒ニ任ズ

(三) 掃海

鎌倉丸泊地掃海

(四) 護衛

(1) 長沙丸ハ五船團中ニ隻ヲ「ベラワン」迄護衛シタル後陸軍運送
船拓南丸、善保丸ヲ護衛シ「ベラワン」發日昭南ニ返拔ス
(2) 第八號駆潜艇八月八日「シリ」發十日「マ」ニ地点ヨリ那古丸鬼怒
川丸千早丸ヲ主特根(十三掃)ヨリ引継ギ之ヲ護衛十日昭南發
投ス

0518

- (3) 長沙丸八日昭南發心六船團三隻ヲ護衛シ十日北緯七度三分東經九七度四分地点ニ到リ之ヲ第三根據地部隊ニ引継キ折返東ニ凡六船因リ同部隊ヨリ引継キ護衛十四日昭南ニ取返ス
- (4) 長沙丸十八日昭南發陸軍輸送船ニ隻ヲ護衛シ「マ」ニ地点ニテ之ヲ第三特別根據地隊ニ引継キ昭南ニ取返ス
- (5) 長沙丸二十五日昭南發陸軍輸送船因リ護衛シ「バラバク」海峡到リ之ヲ比島部隊ニ引継キタル後昭南ニ取返ス

(ホ) 戰備政策事項

- (一) 機密命令第三號昭南軍港(夜称)施設委員會依ル施設基礎安本公前々月以未數度ノ研究委員會ヲ開催審議ノ處中句ヲ以テ其成果ヲ見ルニ至レリ

(二) 昭南軍港防疫規程ヲ定メ「マ」リヤヲ始メ風土病撲滅ニ努力中
人員ノ現狀

軍極秘

海軍少佐調査官 署名

十時根機密第二號一〇十一月二四日送付
自昭和十七年九月一日
至昭和十七年九月三十日

第十特別
機密隊
司令官印

17.12.14
授受

第十特別機密隊戰時日誌

(作戰及一般部)

役務	所管(所屬)	第一南遣艦隊
		艦隊

42

0520

一	經	過	目
二	人員	現	次
三	令	達	示
四	參	考	
五	作戰	經過	
		概要	

(目次終)

0521

自昭和十七年九月一日
至昭和十七年九月十日
第十特別根據地隊戰時日誌

一 經過

敵軍情勢

當方面彼我共大ニ作戦ノ展開ヲ見ズ印度洋方面ニ於
ケル我カ航空機ノ制壓ト相俟ツテ担当海域ニ於テハ敵水
上艦艇並ニ航空機ノ活躍ハ殆ト見ルベキナリ
水中一面ニ出現セル情況ナリ

任務 編制 並ニ配備

一 任務

- (1) 担任海域ノ防備警戒任務
- (2) 交通保護船團直接護衛
- (3) 南西方面味方通信中樞ノ對敵通信

43

2

0522

- (1) 作戰指導
- (2) 津へ警備隊八月三日附解隊九月三日撤退
- (3) 配備
 - (1) 前月通、配備在リテ各廳部隊固有任務ヲ續
- (4) 編制
 - (1) 前月通
 - (2) 所在陸軍ト連絡
- (5) 補給治療
- (6) 航空運輸
- (7) 昭南附近水路掃海

0523

特記事項ヲシ

防備警戒

11 第10港務部長ヲ警戒隊指揮官トシ前月通津

口哨戒航路指示又嚮導ニ當ラシム

12 昭南軍港東口防枝北側ニ監視艇ヲ派出警戒兵ヲ

配シ警戒並ニ航路指示ニ當ラシム

20 4月 九月十九日独商船「シヤルロッテ」エリマニシヲ東口ヨリガ来

島迄嚮導警戒ニ任セシム

掃海

11 水上警戒隊ニ依ル浮流機雷處分數ニ個

20 4月 依ル浮流機雷處分數 五個

護衛

10 4月 第2利丸九月八日昭南發岸ニ圍向丸ヲ護衛セ

- (1) 昭南ヲ往復九月十七日帰投ス
- (2) 長沙丸第一警備隊引揚作業協力、爲九月十日昭南發、クチンニ至リ、帰途陸軍運送船大成丸護衛、兼ネ十七日昭南、帰投ス
- (3) 10/4/29 利丸八月十日昭南發、一船因、一舟礁附近迄護衛、後分離行動ニ准シ丸ヲ、ハバニ經由、クチンニ至リ、迄護衛、後十八日帰投
- (4) 10/4/29 第二利丸、クチンヨリ、北海丸ヲ曳航中、屏東丸護衛、爲九月二十日昭南發、二十日同船ニ合同、二十三日昭南、帰投
- (5) 第七號掃海艇第一圖南丸ヲ護衛九月二十四日發、クチンニ至リ、附近ヲ之ヲ第五號駆潜艇、引継グ、後、海峽沈船調査班、シンケツ、島兵要資料調査、上

平日帰校

10/10 利丸九月十五日發陸軍運送船三隻ヲクダラテ了
迄護衛之ヲ彼南根據地隊ニ引継ギ名後ガバン経

由十月一日昭南帰校

(一) 戦備政策事項

一 岸へ警備隊八月二十日附解隊九月二十日ヲ以テ撤退ヲ

完了ス

二 九月十八日第七號掃海艇ヲシテ、シンケツプ島ノ兵要資料

(飛行場宿舎棧橋等)ヲ調査セシム

三 大ガツナ島ニ柳留中、ソノ聯遣難船ベリコフプ號乗

負ニ衣糧ヲ給スルタメ九月二十日昭南發シ長沙丸ヲ派遣

セル處十特根機密岸中三號ノ十回ヲ以テ報告(宛軍務

局長岸一南遣艦隊司令長官)ノ如ク從來島内ノ積累ヲ

0526

極々居ッシ残敵蘭印兵、自滅シ休、殆安ハ恢復シ住民ハ生業ヲ樂ミ居ッシ、聯人ト亦當方、衣糧給興ヨリ、今後ハ脱出、企圖ヲ放棄シ指令ヲ待ツコトヲ確約セリ

(四)

引揚、損傷船回航

(一) 九月二日屏東丸ヲシテ掖南ヨリ同和號ヨリ曳航セシム

(二) 九月十日巨港丸(旧名「セミラミス」)清十ハ特別工作部曳

船ヨリパレンバンヨリ曳航始南着

(三) フラン沖、損傷船約中、北海丸ハ屏東丸ヨリ曳航九月

二十三日始南着

(五) 拿捕船「マタハリ」號、第一回航班ヲシテ、同日發任セ保、面

航セシム

二人員、現狀

山岸ト特別根據地隊

0527

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	
昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	
昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍
昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍

列表
昭和十七年九月昭南根據地部隊行動

昭和十七年十月一日
昭和十七年十月五日

第十特別根據地隊戰時日誌

一 経過

一 一般情勢

一 担任海域の特ニ異状ヲ認めズ

一 十三日ノ一號隊三十潜水艦 昭南港外(アウターシヨール

ピーコン)一三四度ニ三〇。米)ニ於テ觸雷沈没

一 當隊担任地域ノ警戒ヲ嚴ニスルト共ニ極力教育訓練

ヲ勵行セリ本月中施行セル主アルモノ左ノ通

一 隊七號掃海艇隊一類教練作業

一 聯合陸戰教練

一 防空演習(基礎訓練)

敵軍情勢

太平洋方面

ソロモン方面爭奪戦、熾烈ヲ極メ十月二十六日黎明ヨリ
ガントクルズ諸島北方洋上ニ於テ敵有力艦隊ト交戦敵
航空母艦四隻戦艦一隻(艦型未詳)ヲ撃沈戦艦一隻
巡洋艦二隻 駆逐艦一隻ヲ中破シ敵機三百機以上ヲ撃墜
セシタリ

我方、損害 航空母艦二隻巡洋艦一隻小破未帰還
機四十数機ナリ

印度洋方面

印度ヨリビルマ方面ニ對シ小規模ノ空襲ヲ行フ外印度洋
西部ニ若干ノ海上兵力ノ増援アリタルモノ、如キモ詳細不明
ナリ

0530

48

四 任務編成

一 任務

(1) セレタ、及昭南方面担任海面、防備警戒港務

(2) 交通保護

(3) 昭南附近水路約地、掃海

(4) 南方方面味方通信中、拒對敵通信

(5) 補給治療

(6) 所在陸軍上、連絡

二 編制

前月通

三 配備

前月通 各艦部隊固有任務續行

四 作戰指導

ス

0531

作战

十五日以降第一。通信隊、第五中央方位測定組織、直
接管制並に南方及潜水艦放送ヲ實施ス

防備警戒

第十港務部長ヲ警戒隊指揮官トシ、昭南東口、西口
ニ哨戒艇各一隻ヲ配シ、湾口哨戒並に航路指示ニ當ラ

シム

(2) 陸軍輸送船、臺海丸、バンカ海峡(ダグル燈台、三八四度

一、二哩)ニ於テ觸雷坐礁セルヲ以テ、十六日第七號掃海艇

ヲ派遣狀況調査ヲ行フト、共ニ觸雷附近海上ノ掃海

艇式略掃ヲ實施セルモ拘束機雷ナシ、十八日より當分、

間バンカ海峡航行ヲ禁止セラル

(3) 十日アアンバヌプロマンキ燈台、北七。哩ニ於テ雷跡ヲ認

第七號掃海艇ヲシテ別座掃蕩セシム

(4) 三十一日東經一。二度四五分北緯一度三。分ニ敵潜水艦

ヲ方位測定ス第四十四掃海隊ヲ以テ掃蕩中

四 掃海

(1) 八號潜水艦ヲ潜水艦港外ニ沈没セルヲ以テ水警部科 第四

十四掃海隊ヲ以テ附近機雷原ノ掃海ヲ實施シ潜水

艦揚收作業ニ重要物件撤出作業ニ協力ス

(2) 昭南港附近浮網機雷激増セルヲ以テ發見次第之ガ處分

ヲ行ハト共ニ二十九日附昭南港附近夜間航行ヲ避ケラレ

度首警報ヲ發ス

四 護衛

ハタビヤ發昭南方面航修理ノ独船レーゲンスブルグヲ三十一日

七號掃海艇ヲシテ昭南護衛セシム

水戰備及政策事項

一 昭南軍港岸一船渠(旧キゲジョーシ六在ドック)ハ排水即
破壊ヲレ排水不能ナリシ處ニ基中一基修理完成三十日
排水ヲ完了ス

二 第九特別根據地隊ヨリ當隊ニ臨時逃遣中ノ下士官兵二
八名中自勤軍運轉員六名ヲ除キ一ニ二名三十日當地發
テ原隊ニ復帰セシメラル

人員ノ現狀

一 第十特別根據地隊

一職員官氏名

職	主	務	官	氏	名	記	事
司令官			中將	奥	信一		
副司令官	首席參謀	作戰	大佐	山	崎貞貞		

50.

二	三	九	六	交	六	五	五	三	三	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日					
中渠入											中渠入											利 九		第 四	昭和十七年十月 昭南根據地部隊 廢下艦船部隊行動		
昭南商港											昭南軍港											昭 南		第 二		第 四	
昭南商港											昭南軍港											昭 南		第 六		第 四	
昭南商港											昭南軍港											昭 南		第 三		第 四	
昭南商港											昭南軍港											昭 南		第 三	第 四	長 砂	七 號 掃 海 艇
昭南商港											昭南軍港											昭 南		第 三	第 四	海 面 敵 掃 艇	

別紙

昭和十七年十月
昭南根據地部隊
廢下艦船部隊行動

0535

白昭和十七年十月一日
至昭和十七年十月三日

第十特別根據地隊戰時日誌

経過

一 敵情概況

一 担任海域内敵反攻作戰ニ備ヘ防備警戒ヲ嚴ニシ

ツツアルモ特ニ異常ヲ認ム

二 當隊担任海域ノ防備警戒ヲ嚴ニスルト共ニ極力教育

訓練ヲ勵行セリ

三 敵軍ノ情勢

四 太平洋方面

ソロモン群島爭奪戰ハ其ノ後益々熾烈ニ度テ
加ヘ彼我共ニ死闘ヲ反覆シツツアルモ若干ノ陸上部

0536

隊ノ増援ヲ爲シ得タル外未ダ奪回ノ目的ヲ達セス
ハエトキ多シ方面ニ於テハ濠洲方面ヨリ大部隊増援
アリタルモノ如キモ陸軍ハゴブナシ方面ヲ死守シツツアリ

(2) 印度洋方面

印度方面ヨリスルコビルコリアンガマシ諸島ニ對スル反攻
戰ノ企圖アルモノ如ク相當大兵力ノ北部印度ヲ以テ
シテ方面ニ集結シツツアルヲ認ムコビルコリアンガマシ方面
ニ對スル空襲ニ相當大規模トナリツツアリ味方ハ之ニ
備ヘ兵力ノ増強ヲ行ヒ鉄壁ノ布陣ヲ敷キツツアリ
當隊担任海域内概テ平靜ナルモ七日潜水艦ト獲定
スルERK東経へ。五度南緯。度附近(無線方位)
ニ於テ「バースト」交信ス第七號掃海艇ヲ以テ掃蕩セシム

ハ) 任務編制

任務

(1) 昭南方面担任海域、防備警戒港務

(2) 交通保護

(3) 昭南附近水路、泊地掃海

(4) 南方口面味方通信中樞對敵通信

(5) 補給治療

(6) 新在陸軍上連絡

編制

十月二十日附隊四十四掃海隊、第十特別

根據地隊、編入之第十驅逐隊、第九特

別根據地隊、編入セラル

配備

十月一日附當隊共九部署、通改

0538

通信隊	港務部	部隊	護衛	掃海部隊	警戒隊	陸上	警戒隊	海上	區分
官令司隊地據根別特十第									
第十通信隊	第十港務部長	指揮官							指揮官
第十通信隊	第十港務部	第七號掃海艇	長沙丸	第十四掃海艇	第十四掃海艇	陸上警戒備科	水上警戒備科		兵力
對敵通信	港務	直接間接護衛 交通保護		担任海域水路掃海	海軍担任地域防備警戒	水路嚮導		海軍担任海面防備警戒	主要任務

0539

別表

昭和十七年三月昭南根據地部隊麾下艦船行動

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十
利九 利第 九二 長第 運九 長第 運九	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商
長沙丸	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商
第貳掃海艇	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商
昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍	昭南軍
昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商
昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商
昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商
昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商	昭南商

0541